

会 議 録

内容承認	公開・非	<開催日>令和4年 10月 18日(火) <時 間>10:00~12:00 <場 所>岸和田市役所 新館4階 第1委員会室	<傍聴人数>4名 <傍聴室>同左
新川会長	公開の別		
承認	公開		

<名称> 令和4年度第3回 岸和田市総合計画審議会

<出席者>委員 20名中 12名 ○は出席、■は欠席

新川	久	窪田	池島	藤田	新井	松阪	中川
○	○	■	■	■	■	■	○
田口	沖藤	高原	久禮	中井	音掬	山田	武田
■	○	○	■	○	■	○	○
齊藤	鳥居	道下	小関				
○	○	○	○				

事務局) 総合政策部：西川部長

企画課：貝口課長、中井担当長、前田主任、上田担当員

<議題>

- 1 開会
- 2 次期総合計画の基本構想案について
- 3 次期総合計画の基本計画案について
- 4 その他
- 5 閉会

<会議内容>

■開会

■議題2（基本構想案）について事務局から説明を実施

■意見表明及び質疑応答を実施（以下のとおり）

【委員】

42ページの「将来人口の方向性」については、人口の目標値が必要であると思う。また、「子育て環境や住環境の充実、産業の振興など」という記載があるが、具体的に何をしていくかが大事である。

45ページの「区域別の土地利用方針」については、例えば「都市区域」の説明の中に「農地」の記述があったり、「田園区域」の説明の中に「産業創出」の記述があったりする。用語の整理をもう少し行うほうがよいのではないかと。

48・49ページの「拠点の設定」については、方向性や用途などについて、今後、効果的な発展につながるような記載としてほしい。特に、次の10年を見据えて、開発がほぼ完了している丘陵

部の記載よりも、木材港など臨海部の活性化について記載を充実させるべきではないか。

【事務局】

2034年の推計値である約166,000人を最低限の目標としつつ、子育て環境や住環境の充実、産業の振興などにより、上積みをめざすこととしている。総合計画としては、人の数よりも人口構成、また、若い世代や高齢者をはじめみんなが健康で豊かに暮らせるという視点が重要であると考えている。

拠点の設定については、ご指摘のとおり臨海部の活性化は重要であり、そのために今回、産業拠点として位置づけている。

【委員】

今回の総合計画は、総合戦略を兼ね備えた計画であり、めざす人口目標値が示されているほうがよいと思うが、人口構成が大事であるというようなこれまでの議論の経過を踏まえ、折衷案としてこのように示したと理解している。

【委員】

岸和田を強くする“3つの視点”の中に「多様性」という言葉が使われているが、「地域共生社会」という言葉についても、もう少し入れていただけないか。

【事務局】

基本構想では、地域共生社会の意味合いを含めて「岸和田に関わるすべての人が互いに認めあい、新しい住民や若い世代、事業者などが参加できる新しいコミュニティのあり方を実現」していくと表現している。なお、基本構想の実現に向けてさらに具体的な内容を定める基本計画においては、「地域共生社会」という言葉を使用している。

【委員】

基本目標「にぎわいと活力を創造するまち」の中で、観光や岸和田の魅力を高めることが謳われているが、具体的にどのような取組を実行していくかが重要である。

【事務局】

基本構想では大きな目標を示しており、具体的な施策の方向性は、基本計画の中で示している。

【委員】

行政として人口増加の最大のメリットについて、どのように考えているのか。その点をしっかりと考えて、高い目標をもち進めていくことが必要ではないか。

【事務局】

人口の捉え方にも様々あり、定住人口、交流人口、関係人口などが挙げられる。定住人口であれば、住んでいる住民の方が増えるため、税収増につながる。交流人口であれば、本市における経済活動が市内事業者の収益につながり、行政としては法人税として跳ね返ってくる。関係人口であれば、様々な形で本市に関わるため、金銭的な効果だけではなく、人と人とのつながりといった効果

が生まれると考えている。

【会長】

人口増加は、税収増だけではなく、まちの文化・風土・雰囲気など、お金以外の面で大きな変化をもたらすこともあるかもしれない。

基本構想については、本日の意見を踏まえて、内容や文言の表記ゆれなどについて精査いただきたい。また、計画案に反映されないご意見についても、しっかりと議事録に残していただきたい。

■議題3（基本計画案）について事務局から説明を実施

■意見表明及び質疑応答を実施（以下のとおり）

【委員】

14 ページに重点目標として「泉州山手線を中心とした拠点形成」が挙げられているが、次の4年間で泉州山手線は大きく進むものではない。また、丘陵部の開発も一定完了している。そのような状況の中でこれらだけに焦点をあてるのではなく、もっと全市的な視点をもって考えていくべきではないか。

重点目標のスマートシティやカーボンニュートラルの推進についての方向性には賛同する。また、アフターコロナ後の社会は大きく変わっていくものであり、以前の社会に戻ることはできない。

86 ページに「事業者に対する伴走支援」などの記載があるが、これは古い考え方であり、IT化という視点にシフトしていくべきではないか。

94 ページの「公共交通」についても、山手の課題解消だけではなく、地域全体の視点をもって取組を進めてほしい。南海本線から海側においても、解消しなければならない喫緊の課題がある。また、交通施策として、補助金をバス事業者に交付するような支援だけではなく、買い物などの日常生活を支える取組を考えてほしい。

【事務局】

拠点形成のうち、丘陵部のゆめみヶ丘岸和田については、全国的にみても特徴的な取組であり、引き続きソフト面を中心としたまちづくりを行っていく必要があるため記載している。臨海部の拠点形成についても長期的な取組となるが、重点目標に紐づくものと考えている。

事業者支援については、IT化やデジタル化についても、当然推進することが必要であると認識している。

公共交通については、ご指摘のような点も踏まえて、行政の役割を「地域の特性に応じた最適な交通手段の検討・構築を進める」に今回変更させていただいている。そして、その役割に基づき、それぞれの地域にあった方策を具体的に考えることが必要である。

【副会長】

ゆめみヶ丘岸和田のまちづくりは、エリアマネジメントによって進め、農を含めて取り組んでいるところが特徴的である。このような特徴的な取組を引き続き「まち育て」の視点をもって進めていくことが重要である。

【委員】

愛彩ランドと和泉中央をつなぐバス路線ができるが、市の中心部への関わりがなく、まち全体への波及効果がないのではないか。

【委員】

昔は紀州街道やバス路線が交差し、交通手段が充実していた。市街地でも高齢者や買い物に不自由な人もいるため、交通弱者のことを考えた施策が必要だと思う。

【委員】

44 ページに「文化財」の記載があるが、市にある文化財を一覧にしたものはあるのか。
52 ページに「えるぼし認定事業者」とあるが、語句の説明がいるのではないか。
69 ページに「消費生活センター」の記載があるが、相談窓口などの記載はできないか。
105 ページに「ワンストップ化」とあるが、語句の説明がいるのではないか。

【事務局】

文化財については、一覧が市ホームページに掲載されている。語句説明等については、必要に応じて追記する。

【委員】

52 ページのみんなでめざそう値「えるぼし認定事業者数」の目標値を「1 事業者」としているのは消極的な記載とみえるのではないか。

また、同じページのみんなでめざそう値「審議会等の女性委員の割合」の目標値について、あえて「60%以下」と示す必要があるのか。

【事務局】

「えるぼし認定事業者数」については、現状の認定事業者が0事業者という状態から、1 つでも進めたいという思いから設定したが、ご意見を踏まえ表現をさらに検討したい。

「審議会等の女性委員の割合」については、男女がバランスよく委員構成となるべきであり、その考えにより現状のような記載としている。

【委員】

12・13 ページに重点目標として子育てが掲げられている。現状では子どもたちの貧富や学力の格差が課題となっており、これらに対応して、子どもが将来市に残りたいと思ってもらえるようにする必要がある。特に、子どもの学力や教養の向上については、学校をはじめ教育委員会にだけ任せればよいのではなく、行政内相互や市全体で支援していくことが必要ではないのか。

また、子どもの健全な発達にとって、小さな頃から身近に様々なことに触れる機会があることが重要であり、格差の有無にかかわらず全員にとって必要であると思う。

一方、最近は町会などの加入者が減っているように、地域のつながりが希薄化しており、子どもを地域で見守り、育てることが難しくなっているが、これまで岸和田の魅力はそこにあったと思う。このような状況を改善するために、必要な取組や仕組みを検討していくべきではないか。

子どもたちのために地道なボランティア活動をしてきている方もおり、そのような活動がな

くならないうちに、組織化することや、参加者のすそ野を広げるための支援などが必要だと思う。

【副会長】

基本計画に関連する個別計画が記載されているが、これを単なるリストアップに終わらせてはならない。担当課や審議会をはじめ、みんなが連携して進めていけば物事は動く。また、今回、SDGs との関連性について整理された表が追記されているが、同じ SDGs 目標に紐づく施策については、それら相互の連携が必要になってくる。

えるぼし事業者については、女性活躍の視点で重要であり、残業が減れば安心して働ける人が増えるため、注力していくべき取組になる。

【委員】

みんなでめざそう値について、2点教えてほしい。1点目は、指標によって目標年次が2025年や2026年となっており、統一されていないのはなぜか。

2点目は、一部の目標値が「増加」というような曖昧な表現になっており、数値にこだわって記載すべきではないか。

【事務局】

1点目については、最新で数値を取得した年度を基本とし、そこから4年後を目標年次としている。「～だと感じている市民の割合」というような主観指標は、今年度実施した市民意識調査から数値を取得しているため、目標年次は2026年となっている。一方、客観的な数値については、昨年度の実績を示している数値が多いため、1年ずれて目標年次が2025年度となっている。また、国が発表している数値のうち、未発表のものなどについては、一部過年度のものを使用している。

2点目については、個別計画の中で数値化できていなかったり、数値を設定することが困難なものがあるため、言葉で表現している。

【委員】

総合計画が上位計画となるため、こちらが先導して設定していくことも考えてほしい。

【会長】

指標の設定については、合理的な説明が可能となるよう事務局で整理をお願いしたい。

【委員】

聴覚障害者への配慮として、関連部局につながる連絡先などをQRコードにより記載できないか。

また、60・61ページの個別目標の方向性「障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める」の現状と課題において「事業者や団体、地域だけでは支えきれない暮らしの場の支援体制を整える」と記載しているが、これをそのまま行政の役割に据えることが必要ではないか。

【事務局】

現状、行政の役割「自立した生活を支える障害福祉サービスなどを提供する」の中に含まれると

整理しているが、引き続き表現を検討する。

【委員】

総合計画の完成後、市民にいつ頃、どのように配布されるのか。また、1年ごとの進捗の評価などは、どのように実施するのか。

【事務局】

市民への配布については、基本構想の概要版を、町会を通じて回覧することを検討している。進行管理については、事業評価を行政の中で進めるとともに、みんなでめざそう値や取組状況を毎年確認し、外部有識者が入った会議を設け、進行管理を実施したいと考えている。

【委員】

「国民保護」に関する内容は、基本計画のどこに記載されるのか。現状と課題部分などに追記するほうがよいのではないか。

【事務局】

70 ページの個別目標の方向性「発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める」に紐づくものとして整理している。もう少し「国民保護」の内容が読み取れるよう、記載を調整する。

【委員】

総合計画はどうしても総花的になってしまう。総合計画の役割としては、各分野の横ぐしをさすことが重要であり、今後も意識することが求められる。

一方で、個別具体的な取組などについては、個別計画における役割・検討になるという理解でよい。

【事務局】

ご意見のとおり、具体的な取組については、個別計画においてその役割を果たしていく。総合計画の役割としては、個別計画同士の横の連携を図ることが重要となってくる。

【委員】

国は、デジタル田園都市国家構想を進めようとしているが、実現可能性が懐疑的である。誰のための取組なのかをしっかりと考え、市民すべてがデジタル化のメリットを享受し、豊かな暮らしになるよう、岸和田の特徴や資源を踏まえて、適切に推進していただきたい。

【委員】

岸和田はデジタル化が遅れていると感じる。行政や議会もしっかりと進めるとともに、個人や事業者にも波及させ、産業構造を変えていくことが必要だと思う。

【事務局】

本日欠席している委員1名から、事前に3点ご意見を頂戴しているので紹介させていただく。1

点目は、44 ページのみんなでめざそう値「市内の指定文化財及び市内の登録有形文化財の数」について、現状値と目標値に変化がない。変化がないことに意味があるのであれば、説明を追加するべきではないか。また、現状と課題の記述から、郷土への愛着の醸成ができたか、また、歴史や文化のさらなる発信ができたか、ということが指標となるのではないか。

2点目は、104 ページのみんなでめざそう値「経常収支比率」について、目標値が入っていない。

3点目は、106 ページに記載の「競輪事業」について、現状と課題では構造改革や PR によるファン獲得に取り組むとしているが、みんなでめざそう値「岸和田競輪売上高」の目標値が増加していないのは、現状維持できれば十分という考え方なのか。

これらご意見についても、事務局において検討させていただく。

【会長】

審議会としての審議は本日で終了となるが、基本計画をはじめ修正させていただくところは多々あると考えている。大きな方向性や内容については、本審議会として了解をいただき、計画の策定に向けた計画案の最終調整については、会長と事務局にご一任いただくことでよろしいか。

(出席の全委員同意)

各委員におかれては、2年間にわたり、これまで計画案に対して熱心なご議論をいただき感謝する。これをもって、審議会としての議論は終了とさせていただく。

■その他

【事務局】

会長をはじめ、各委員におかれては、総合計画の策定にあたり、熱心なご審議をいただき深く感謝する。引き続き、計画の進行管理を継続的に進めていき、4年後には今回設定した「みんなでめざそう値」を達成するとともに、定めたそれぞれの目標の実現に向けて努めたいと考えている。次年度以降の審議会の開催については未定だが、必要に応じてお声がけさせていただきたい。

■閉会

以上